

平成 29 年度 松戸市社会教育計画年度報告書

松戸市社会教育計画は、すべての市民の学びを保障し、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、社会教育行政が果たす役割と方向性を示す計画です。

本計画では、「市民一人ひとりが、いつでも どこでも 必要に応じた学習活動を積極的に行うことができ、その学習の成果を自らの人生や地域社会の活性化に生かすことのできる」という基本理念を実現していくために4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに施策を設けて事業を推進しております。

この年度報告書は、PDCAサイクルに基づき、各施策に対する各課の事業内容（Plan）に対し、事業の「実施状況（Do）」の点検、評価を行い、「事業の進捗や成果が適切で目標実現に寄与しているか」との視点から、各所属において、

「A：施策の目標どおり推進できた」

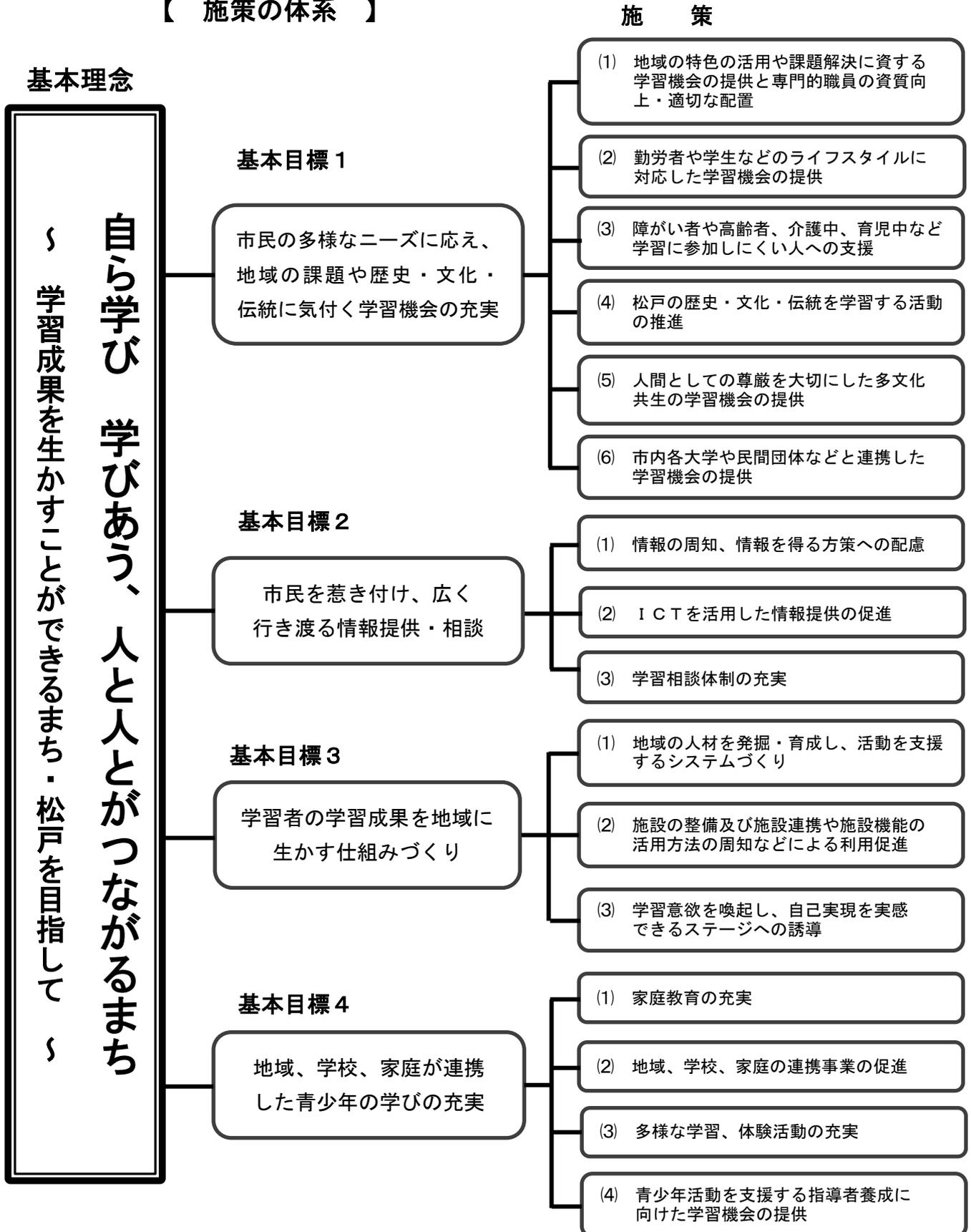
「B：施策について概ね順調に推進している」

「C：施策について進捗は遅れている又は未実施」

の三段階で定性評価（Check）を行うとともに、自己評価を受けて、事業がより推進していけるよう「課題と方向性（Action）」を示したものである。

第4章 社会教育活動を促進するための施策

【 施策の体系 】



**【基本目標1】 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に
気付く学習機会の充実**

《 施 策 》

(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置

施策(1)総合評価(事業課数9)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	4/9	44.4%	4/9	44.4%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/9	44.4%	5/9	55.6%						
C	—	1/9	11.2%	0/9	0.0%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学 習 機 会 の 充 実 に 資 す る 学 習 機 会 の 提 供 開 催 事 業 (P32)	生涯学習推進課	市民が趣味や教養を高めるなど自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができるよう、各種学習の機会を提供する。 ・まつど生涯学習大学講座 ・ふるさと発見創造講座 ・成人講座 ・市民大学講座							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりを目指して様々な課題や学習テーマを取り扱い、市民には好評であった。また、開催場所についても市内各地域の公共施設を使用することで、より多くの市民が参加した。 ・まつど生涯学習大学講座参加者数 延べ5,719人(18回開催) ・ふるさと発見創造講座参加者数 延べ199人(15回開催) ・成人講座参加者数 延べ4,581人(27講座106回開催) ・市民大学講座参加者数 延べ2,151人(7講座31回開催)							
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
		—	A	A					
		平成30年度の方向性(Action)							
		受講希望者が多数のため抽選となる講座、定員割れの講座、回を重ねるごとに参加者が減少してしまう連続講座等があり、講座の企画段階において、テーマと講師の選定、内容と開催回数や開催の時期、場所の設定等を十分に検討する。 なお、平成30年度は、毎回定員を大幅に超える応募がある「まつど生涯学習大学講座」を受講経験に応じて「入門コース」と「創年コース」の2コースに分けて実施する。 ※ふるさと発見創造講座は「まつど生涯学習大学講座」の「創年コース」と名称を改めて、引き続き内容の充実に取り組む。							
松戸の教育 参考ページ	P62～64 (1)講座状況								

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動支援事業(P32)	生涯学習推進課	市民の自主的な社会教育活動の振興を図るため、社会教育関係団体への支援を行う。						
		<ul style="list-style-type: none"> 施設使用料等の減免、共催、後援 広報掲載(行事案内、会員募集) ポスター掲出 視聴覚ライブラリーを無料で貸し出し 						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 公民館使用料等の減免: 10割減免(社会教育関係団体)2,039件 3割減免(社会福祉団体等)19件 共催・後援: 138件 広報掲載247件(4/1~3/15号: 行事案内、会員募集など) ポスター掲出: 94件 視聴覚ライブラリー貸し出し: 219件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、社会教育関係団体の支援を通して、市民の自主的な社会教育活動の振興を図る。						
松戸の教育参考ページ	P69 (4)視聴覚ライブラリー							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業(P32)	図書館	課題解決のために多様な情報の提供を図るとともに、市民の自主的な学習活動を支援するため、調べ方案内の提供や情報活用能力の育成を図ります。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		企画展示(12回/年)により、多様な情報の提供をおこなった。また、図書館活用講座においては、認知症に関するパスファインダーを作成し配布するなど、調べ方案内の提供をおこなった。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	C	B			
		平成30年度の方向性(Action)						
		図書館資料を整備し、情報提供の充実を図っていく。						
		松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会 上教育 ・育 適 専 切 門 な 的 配 置 員 (P32) 資 質	教育 企 画 課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。						
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		専門的職員の資質向上については、派遣研修計画に基づき各課に研修予算の配分を行い、一定の研修機会は確保できている。						
		・研修件数:8件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	A			
平成30年度の方向性(Action)								
社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上については、引き続き派遣研修計画に基づき、各課に研修予算の配分を行い、一定の研修機会の確保に努める。								
松戸の教育 参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会 上教育 ・育 適 専 切 門 な 的 配 置 員 (P32) 資 質	社会 教 育 課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。						
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事について、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する「社会教育主事講習」の講師として1名を派遣した。 ・社会教育主事の発令を受けている職員:1人/17人 ・文化財については、他分野に渡る専門的知識の修得のため、文化財担当学芸員に加え、事務職員も千葉県や千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会などの研修会や研究会に参加した。また、文化遺産の今後の活用を推進するため、国際文化アカデミーの研修に参加し、資質向上を図った。 ・参加人数:延べ30人(17件) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事における課題としては、市町村における社会教育主事の配置率が全国的に低下傾向であることから、事務職員が「社会教育主事講習」を受講していくことが必要である。平成30年度は、講師派遣はないため、研修会に参加する予定である。 ・文化財についても対象となる時代や地域が広範囲にわたることから、職員には幅広い知識とそれを補うための学習が必要となっている。平成30年度は担当職員の知識の修得のための研修会の参加を進めていく。 ・学芸員については、文化財と美術館準備室において、それぞれ1名ずつ採用されたので育成していく。 								
松戸の教育 参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会 教育 専門的 配置 職員の 資質 (P32)	生涯 学習 推進 課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。 ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		社会教育主事資格取得のために講習会へ職員を派遣するとともに、職員の資質向上を図るため必要な研修機会を充実させる。 ・社会教育主事の発令を受けている職員：6人／16人 ・新たに「社会教育主事講習会(社会教育実践研究センター)」を受講した職員：1名 ・その他、千葉県公民館連絡協議会や同東葛飾公民館連絡協議会が主催する講座や研究大会に随時職員を派遣した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		引き続き、社会教育主事資格取得のための講習会をはじめ職員の資質向上を図る研修機会の充実に取り組む。						
		松戸の教育 参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会 教育 専門的 配置 職員の 資質 (P32)	図書 館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。 ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		図書館業務に必要な専門的知識・技術を身につけるため、ビジネス・ライブラリアン講習会・中堅ステップアップ研修の受講(各1名)、全国図書館大会講演会および分科会への参加、館内職員研修(4回/年)を実施し、地域課題に適切に支援できるよう資質向上を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		これからの図書館のあり方を検討するうえで必要となる業務・知識を身につけるための研修会および講習会に参加し、地域課題に対処した支援ができるよう資質向上を図る。						
		松戸の教育 参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会 教育 専門的 配置 (P32) 資 質	戸 定 歴 史 館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。 ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		退職教員が学習支援専門員(非常勤職員)として配置され、市内小中学校の校外学習資料を作成や社会科見学に対応した。 平成28年度より学芸員を1名採用し、学芸員が館長1人という状態ではなくなったが、事務職員1名減員と同時のため、事務職処理も行わざるを得ず、研究時間の確保が課題である。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		平成29年度と人員配置は変わらない中、マスコミ対応、関係機関からの協力要請は増えているため、構造的な改善は難しいのが現状である。一方で、開館以来学芸業務を担当していた職員が来年で退職すると再び学芸員が1人になってしまう問題を抱えている。 学習支援専門員には引き続き市内小中学校への広報活動及び資料作成を行っていただく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会 教育 専門的 配置 (P32) 資 質	博 物 館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。 ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		博物館においては、高い専門的技能をもつ学芸員の存在が不可欠であり、資料の収集、保管など、専門的知識・技術の習得、知識の向上を図ることを目的として、各種研修会に参加した。 ・平成29年度 研修会参加実績 3回						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		新たな市民ニーズに対応する博物館運営を行うためには、学芸員の計画的な配置や人材育成が必要である。学芸員に求められる専門的知識・技術の一層の向上を図るため、研修などにより学芸員の人材育成に取り組んでいく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供

施策(2) 総合評価(事業課数2)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32		解説
A	—	2/2	100%	2/2	100%							A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%							
C	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%							

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学 習 機 会 提 供 事 業 (P 3 3) (基礎学力再履修講座開催)	生 涯 学 習 推 進 課	義務教育を終えた後も、基礎学力が足りない、基礎学力をもっと身につけたい、またその他様々な理由により再び学びたいと考えている市民に対し、講座を開設する。							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		・基礎学力再履修講座 カリキュラム 国語・数学・英語・社会 授業開催数 述べ774回 受講生128人 述べ8,688人 修了書授与者 96人(出席率70%以上)							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	H31	H32
				—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)							
		受講生が、60歳以上のシニア層のリピーターであるという実情と中学校夜間学級の設置の動向を踏まえ、位置づけを「人生100年時代の生涯学習講座」として中学校夜間学級との棲み分けを図り、市民に分かりやすく、より多くの方に参加いただけるよう名称を「基礎学習講座」に見直す。 また、長期に亘り受講している方も多いため、学んだ成果をまとめて発表する機会を検討するとともに、抽選により希望の教科を受講できなかった方や、リピーターの方で更に学習を深めたいと思っている方等には、自主的なグループ活動や自主企画団体化を促し、必要な支援を行う。							
松戸の教育参考ページ						—			

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
学 (各種講座開催) 習 機会提供 会 (一部再掲) 提 事業 業 (P32) (P33)	生 涯 学 習 推 進 課	【成人講座】 働く人々等を対象とした、新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりをめざした学習の場として開催する。 (昼間・夜間・週末に実施)						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		現代社会の様々な話題や課題を学習テーマとして、経験・知識豊かな講師を選定した講座を開催した。 ・成人講座参加者数 延べ4,581人(27講座106回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		-	A	A				
		平成30年度の方角性 (Action)						
多様化する市民ニーズに応えるため、時代に即したテーマや講師による講座を企画するとともに、受講者が参加しやすい開催場所や開催日時を工夫して実施する。								
松戸の教育 参考ページ	P62 (1)講座状況 [成人講座]							

《 施 策 》

(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援

施策(3) 総合評価(事業課数4)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	3/4	75%	3/4	75%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている又は未実施
B	—	1/4	25%	1/4	25%						
C	—	0/4	0.0%	0/4	0.0%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
(図書館管理運営) (一部再掲) (P32) (P34)	図書館	病院等施設(病院及び老人ホーム)に入院・入所して図書館利用に困難な状況である方々への巡回サービスを実施し、市民が「等しく」利用できる図書館を目指している。また、身体障害者及びねたきりの方々に対しても、図書の宅配サービスを行う。					
		平成29年度の実施状況(Do)					
		事業を円滑に進めるため、施設巡回要綱の策定、宅配サービスの利用希望調査等を行った。					
		・施設巡回サービス 移動施設数 24施設(うち1施設は移転のため10月末で終了) 巡回数 500回 延利用者数 4,180人 貸出冊数 14,426冊					
		・宅配サービス 登録者数 60人 延利用者数 352人 貸出冊数 1,237冊					
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31
	—	B	B				
		平成30年度の方針(Action)					
		高齢化が進み、高齢者数や高齢者施設自体が増えている現状を踏まえ、本館、分館やホームページ等でサービスの周知を図るとともに、各施設や利用者にアンケートを行うなど、ニーズを把握し、利用促進に向け取り組んでいく。					
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
青少年活動支援事業 (P34)	生涯学習推進課	【青年学級講座】 特別支援学級を卒業した人を対象に、自立、余暇活動の充実、仲間づくりを支援し、社会的連帯感を高めていく機会として開催する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		平成29年度は主として毎月第4日曜日に計13回の行事を開催し、カラオケ大会、健康ヨガ、ボウリング大会、料理教室、ユニカール交流会などを行った。特に、ユニカールではなんでも体験団(青少年教室企画実行委員会)と合同で行い、交流を図った。また、2月には芸術祭での歌の発表も行った。延べ参加者は子供、父母、ボランティア等を合わせて280名であった。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
引き続き、毎月第4日曜日をメインに講座等を実施していく。 青年学級は、保護者を中心とした支援団体との連携協力で運営しているが、行事等の参加者は、学級生と父母、ボランティア、青少年会館職員に固定される傾向がある。 今後とも青少年会館を利用している他の子どもたちや大人との交流できる機会を増やすよう創意工夫をする。								
松戸の教育参考ページ		P78 [その他の状況]青年学級						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
(各)種講座開催(一部再掲)事業 (P32)(P34)	生涯学習推進課	【まつど生涯学習大学講座】 60歳以上の人を対象に、自らの生活課題や社会的課題に即した学習をもとに、地域の主体的な行動者となることを期して開催する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		前年度受講生からなる提案委員会において次年度に学習したいテーマを検討し、現代社会の様々な生活課題、地域の歴史や伝統文化、行政の仕組みなど、多様なテーマと魅力ある講師による講座を開催した。 ・生涯大参加者数 延べ5,719人(全18回開催) ・提案委員会参加者数 延べ72人(全8回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
毎年、定員を大幅に超える応募がある人気講座で、リピーターも多いことから、対象者の在り方や学習テーマ難易度、提案委員会での意見等を検討し、受講希望者が、それぞれのニーズに合った講座に受講できるよう「まつど生涯学習大学講座」を、生涯学習活動に参加経験の浅い方向けの「入門コース」と、受講経験が長く、専門性の高い学習や実践的な地域活動を希望する方向けの「創年コース」に分けてを開催する。								
松戸の教育参考ページ		P64 [まつど生涯学習大学講座] [平成29年度まつど生涯学習大学講座プログラム]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
家庭 子育て 教育力 向上 学習 事業 開催 催 (P 3 4)	生涯 学習 推進 課	家庭の教育力回復支援事業の一環として、孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者たちに、子育てに関する情報や学習の機会を提供し、参加をサポートする。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者たちでも親子で参加できるよう土曜日に公演会、講座を開催し、参加した保護者に向け、子育てに関する学習会や情報提供を行う。 ・親子特別公演会 市民劇場 親子参加者数 213名 ・子育てフェスティバル出張講座 親子参加者数 350名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)						
		孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者たちも、参加できる日程などを工夫し、引き続き、親子が、気軽に、楽しく参加できる公演会や講座、イベントを開催し、親子の関係性を深める場と、子育てに関する情報や学習の機会を提供していく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進

施策(1) 総合評価(事業課数7)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説	
A	—	1/8	12.5%	2/7	28.6%							A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	7/8	87.5%	5/7	71.4%							
C	—	0/8	0.0%	0/7	0.0%							

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
文化財保護事業(P35)	社会教育課	文化財の保護啓発活動に努めるとともに、学習資料として文化財マップの作成、埋蔵文化財調査報告書の刊行、史跡めぐり講座などを行う。学校教育と連携し、市内小中学校教材「のびゆく松戸市」「われらの松戸」に市内の文化財等を紹介する。							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		松戸の歴史、文化、伝統を学習する活動の学習資料として、文化財マップの配布、埋蔵文化財調査報告書の刊行を行い、史跡めぐり講座、登録文化財の記念事業などを実施した。さらに、文化財の保護啓発活動のため、松戸市ホームページへの掲載や雑誌掲載の記事提供などを行った。							
		<ul style="list-style-type: none"> ・29年度史跡めぐり参加者数 延べ72人(3回(5日間)開催[内1回は親子史跡めぐり]) ・29年度新規刊行物: 報告書2種類 							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			—	B	B				
		平成30年度の方針(Action)							
文化財に関しては、個人から団体の学習まで幅広く、また専門的な相談への対応が必要になっているので、担当職員のさらなる知識修得が課題である。平成30年度は職員の知識のさらなる習得や史跡めぐり等の実施により啓発と学習活動の推進を図っていく。									
	松戸の教育参考ページ	P55 (2)文化財保護							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
戸 定 歴 史 館 管 理 運 営 事 業 (P 3 5)	戸 定 歴 史 館	国指定重要文化財「旧徳川家松戸戸定邸」、国指定名勝「旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)」の公開と、水戸藩最後の藩主であり、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の弟である徳川昭武の事跡を中心に数ヶ月に一度の割合で内容を変更しながら歴史館において展示会を開催し、市民の学習及び文化、芸術活動の場を提供する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		1867年のパリ万博150年を記念し、PROJECT1867を実施した。これは渋沢史料館、佐賀城本丸歴史館、日仏会館、茨城県立歴史館、鹿児島県、日本仏学史学会、千葉大学園芸学部と展示会、講演会、シンポジウムを行い、新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーと連携してオリジナル曲「1867」のCDを制作し、前記の場所で複数回のコンサートなどを行った。また、旧徳川昭武庭園の復元工事を完成させた。 ・来館者数: 20, 115人(265日間)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性(Action)						
29年度の成果を踏まえ、庭園復元のPR、内閣府が進める明治150年関連展示会、講演会を行う。また、社会教育機関が松戸市の後期基本計画に貢献するため、大学や民間との連携事業を更に進め、当館の活動成果の有効活用に努める。さらに、規模が拡大された歴史公園全体の有効活用するため、施設整備等の検討を行う。								
松戸の教育 参考ページ		P94 展示会開催等						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博 物 館 展 示 事 業 (P 3 5)	博 物 館	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深める機会を提供する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		展示事業を通して、郷土の歴史と文化についての資料収集をし、保管及び展示を行っている。 ・常設展観覧者数 述べ16, 437人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性(Action)						
常設展示映像機器については、導入してから25年経過し、不具合等も見られることから機器の更新を行う。								
松戸の教育 参考ページ		P24 博物館展示事業						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
博物館学習支援事業 (P35)	博物館	歴史講座等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史・文化等に関わる最新情報を様々な媒体を通して提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		松戸市の歴史・文化の講座及び学校教育での博物館の利用を促進するため見学会を行うなど学校教育との連携を深めている。 ・①歴史講座(古文書を読む「近世入門編」他4講座) 延べ607人(24回開催) ・②見学(学習活動 4月～H30.3月末) 延べ5,311人(常設展示観覧者)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		学芸員の専門性を生かした講座の充実を図り、講座を通して郷土の歴史や文化を伝えていくとともに、学校が博物館を利用する機会を増やし、博学連携が進展するように取り組んでいく。 ・講座数(24回)、・講演数(11回)、・体験教室(5回)、・こども体験教室(17回)、 ・博学連携プログラム(7プログラム)						
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館学習支援事業							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
博物館歴史資産収集調査事業 (P35)	博物館	松戸を中心とする歴史・文化等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		博物館資料の寄贈8件、寄託2件を受け、収集・保存を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		博物館資料の収集等を行うとともに調査研究を行い、展覧会、講演会等を開催していく。						
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館歴史資産収集調査事業							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
市史編さん事業 (P35)	博物館	市民が郷土の歴史についての理解を深め、郷土に対する誇りをより一層高められるよう、松戸市史の編さんを行う。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		市長から諮問のあった『松戸市史上巻』改定事業が終了し、市史編さん委員は平成28年6月30日をもって任期満了となっている。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	事業終了			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		市史編纂委員会からの意見により、今後の『松戸市史』編さん事業については専門の組織を立ち上げて、長期計画のもとで慎重に進める。						
松戸の教育参考ページ	P101 市史編さん委員会委員							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
図書館管理運営事業 (P32) (P35)	図書館	郷土資料等の郷土の歴史と文化に関する資料を積極的に収集・保存し提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		松戸市及び近隣他市町村の資料の収集を行い、寄贈された資料についても広く受け入れた。また、行政資料については、各課が作成している計画等を調査し、所蔵していない資料を担当課から譲り受けるなど、積極的な収集を行った。 ・寄贈冊数 6898冊 (本館4142冊、分館2786冊)						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		平成29年度に引き続き、積極的に資料を収集していく。一方で、郷土資料の書架が狭隘化しており、収容能力が限界にきているため、新たな配架スペースの確保や同一タイトルの受け入れ部数を少なくするなどの対策を講じる。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
美術 文化 関係 事業 (P36)	社会 教育 課	美術館等の開設を準備するとともに、松戸ゆかりの美術についての調査及び優れた美術品等の収集、保存、公開を行なう。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 美術作品・資料等を適正に保存管理するため、資料整理、燻蒸業務、修復業務を実施した。その他、松戸ゆかりの作家の作品調査、書簡集の編集業務、松戸の美術作家に関するアンケート調査を実施した。(追加調査5人) 寄贈:62点、寄託:1点 公開:目黒区美術館にて「よみがえる画家板倉鼎・須美子展」として板倉作品167点他資料を公開 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> 美術作品・資料等を適正に保存管理するため、資料整理、修復業務を実施する。また、松戸ゆかりの作家の作品調査、松戸の美術作家に関するアンケート調査を実施する。 博物館において「松戸ゆかりの美術展—その潜在力—」を開催(8/4~9/2)するとともに、森のホール21において「松戸の作家の個展」を4回開催する。 								
松戸の教育 参考ページ	P61 (3)美術館準備室							

《 施 策 》

(5) 人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供

施策(5) 総合評価(事業課数2)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	3/3	100%	2/2	100%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/3	0.0%	0/2	0.0%						
C	—	0/3	0.0%	0/2	0.0%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
人権学習の推進(P36)	生涯学習推進課	自分や自分以外すべての人たちの人権や生き方を考える講座や、直接的に人権をテーマとしていない講座であっても、可能な限りプログラムに人権課題を加えた講座を実施する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		市民大学講座「人権－私たちにできること」では、LGBTや世代間の格差についての講演、国立ハンセン病資料館への現地学習、参加者同士の話し合いなどにより、人権問題の理解やその深化が図れるよう企画・実施した。また、他の事業においてもプログラムの中に人権問題に関わるテーマを取り上げた。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座「人権－私たちにできること」全5回 延べ114人 ・まつど生涯学習大学第12回講座「人権週間記念学習会」 296人 ・家庭教育学級第2回研修会(人権研修会) 92人 ・幼児家庭教育学級「心のバリアフリー」 7人 						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方針(Action)						
		松戸市が、人権尊重都市を宣言して20周年の節目の年にあたることから、記念事業として市長部局、教育委員会、人権擁護委員協議会と協力、連携して、市民大学講座、まつど生涯学習大学講座、家庭教育学級をはじめ、市長部局が開催する講演会等において、様々な人権をテーマにした学習の機会を提供する。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座(全5回) 11/7～12/5 ・まつど生涯学習大学講座(第12回) 11/29 ・家庭教育学級(第2回研修会) 9/11 						
		松戸の教育参考ページ	P63 [市民大学講座] P64[平成29年度まつど生涯学習大学講座プログラム] P66 (2)家庭教育学級等の状況					

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
青少年会館学習機会提供事業 (P36)	生涯学習推進課	【国際交流事業】 諸外国の生活・文化・風習に触れ、国際的な視野を広げ、人権や平和についても考える交流学習の機会を提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		オーストラリアの文化交流事業として、「ブーメランを作って・飛ばして・キャッチしよう」と題して講座を開催した。ブーメランは、オーストラリアの先住民が狩猟や儀式で使用していたことで有名であることから、ブーメランについての話を聞くとともに、実際にブーメランを制作し、飛ばして、キャッチしてみることでオーストラリアの歴史や文化に触れていただいた。 ・参加者17名						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		JICA地球ひろば(独立行政法人国際協力機構の見学施設)へ訪問し、海外ボランティアの経験談などを聞くことでJICA地球ひろばの活動や、リアルタイムの各国情勢を学ぶ機会を提供する。						
松戸の教育 参考ページ	P78 [その他の状況]国際交流事業							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
おもてなしボランティア養成事業 (P36)	生涯学習推進課	日本人固有のおもてなし文化を広め、国際性豊かで内外の人々に信頼と尊敬がえられる活動の中心となるボランティアを養成する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		ふるさと発見創造講座へ移行						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	事業終了				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		松戸の教育 参考ページ	—					

〈 施 策 〉

(6) 市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供

施策(6) 総合評価(事業課数3)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	2/3	66.7%	2/3	66.7%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/3	33.3%	1/3	33.3%						
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学 習 機 会 提 供 事 業 (P32) (P37)	生 涯 学 習 推 進 課	【市民大学講座】 現在社会のさまざまな課題を取り上げ、地元大学や民間団体とも連携を取りながら開催する。							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		市民に市内大学の施設を会場として、現代社会の様々な課題について、より専門性の高い内容の講座を提供するとともに、各大学の地域貢献活動に協力する。 ・市民大学講座参加者数 延べ2,151人(7講座31回開催)							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	H31	H32
				—	A	A			
		平成30年度の方角性(Action)							
		学習テーマや講師によって受講数に差が生じていることから、受講者アンケートの結果を大学側に提供し、市民ニーズを捉えた市民大学講座の企画運営に努める。							
松戸の教育参考ページ		P63 [市民大学講座]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地元の大学との連携方策の検討（P37）	社会教育課	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 文化財については、文化財保護啓発活動や文化財調査に際し、市内ほか各大学の専門教員と連携するとともに報告書等を大学に送付し、情報共有を図った。 美術関係については、聖徳大学所蔵の藤田嗣治作品と松戸市教育委員会所蔵の板倉夫妻の作品を公開する(仮題)「フジタとイタクラ展」を実施する企画について、聖徳大学に対して提案を行ない平成30年度実施の準備を進めてきている。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性(Action)						
		<ul style="list-style-type: none"> 文化財については、さらなる内容の充実を志向していくことが課題である。平成30年度は市内他近隣の大学と連携して情報共有を行い、文化財調査や保護・活用に向けた協力体制構築を検討していく。 美術関係では、聖徳大学と松戸市教育委員会の共同主催により、(仮題)「フジタとイタクラ展」を開催し、エコール・ド・パリの画家である藤田嗣治、板倉鼎・須美子夫妻の業績を紹介する予定である。(・会期:平成30年1月15日～3月16日 ・会場:聖徳博物館※日仏関係省庁・機関の連携による「ジャポニズム2018」の公式企画として開催される「藤田嗣治展」と会期を合わせて実施) その他、旧齋藤邸で季節のミニコンサートを実施する予定であり、地元大学に参加して頂く予定である。 						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地元の大学との連携方策の検討（P37）	生涯学習推進課	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		公民館運営審議会の委員に市内大学の学識経験者が加わることにより、市民大学講座の開催や各種講座への講師紹介等、大学との様々な連携協力の可能性を含め、市民の生涯学習活動の更なる推進に向けて、ご意見や助言を頂いた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、公民館運営審議会の学識経験者のご意見や助言を活かし、各大学との効果的な連携協力の在り方を検討し、市民のニーズに応えられる事業の実施に努める。						
松戸の教育参考ページ	P110 [公民館運営審議会委員]							

【基本目標2】 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

《 施 策 》

(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮

施策(1) 総合評価(事業課数16)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	9/16	56.3%	9/16	56.3%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	6/16	37.5%	6/16	37.5%						
C	—	1/16	6.2%	1/16	6.2%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)														
広 報 活 動 の 推 進 (P 3 8)	社 会 教 育 課	<p>社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。</p>														
		平成29年度の実施状況(Do)														
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年6月に旧齋藤邸が国の有形登録文化財に登録され、広く市民に生涯学習の場として活用して頂けるよう広報まつど等へ掲載するとともに、パンフレットを作成し各施設に配布をおこなった。また、松戸駅東西自由通路にて事業の取り組み等をPRし、結果として集客に結び付いた。 ・利用者数: 1,386人(前年度比2.7倍) ・文化財の保護・啓発では、松戸市ホームページへの掲載、文化財標識柱・説明板の設置、更新を行い、また学習資料として文化財マップの配布を実施した。市指定文化財の指定や国登録有形文化財(建造物)の登録に際し、広報まつど、記者クラブへ情報提供し、文化庁、千葉県文化財課へも文化財の指定状況や活用状況を情報提供した。 ・文化財マップ配布数 605部 ・文化財標識柱・説明板設置数 135ヶ所(新規1ヶ所、更新1ヶ所) ・美術関係では、「松戸の作家の個展」開催情報を、松戸市ホームページや広報まつど、電子モニター等に掲出し、広く周知を図った。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関へ配布した。 														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 20%;">担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32		—	B	B			
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32								
			—	B	B											
平成30年度の方角性(Action)																
<p>課題は、広報まつどやHPへの掲載及び施設への配布のみでは広報活動の限界があるので、事業の趣旨に応じた効果的な周知方法や媒体を見出すことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、旧齋藤邸については、地元の町会長会議に出席しチラシを配布する等して更なる広報活動を行う予定である。 ・成人式では、本年度から午前午後の2部制に変更するため、広く周知を行うために、広報まつどやHP、ツイッター、フェイスブックの他、本庁舎や松戸駅にあるデジタルサイネージを活用する ・文化財については、情報を整理し、より市民目線でわかりやすい情報提供や成果物を志向していく。 ・美術関係については、「松戸ゆかりの美術展—その潜在カー」開催情報を、松戸市ホームページや広報まつど、電子モニター等に掲出し、周知を図る。併せて、チラシやポスターの配布、電車内窓上広告等各広報媒体を活用し、広報活動を実施する。 ・「松戸の作家の個展」開催情報については、松戸市ホームページや広報まつど、電子モニター等に掲出し周知を図り、併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関等へ配布する。 																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">松戸の教育 参考ページ</td> <td>P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧</td> </tr> </table>	松戸の教育 参考ページ	P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧														
松戸の教育 参考ページ	P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧															

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
広報活動の推進 (P38)	生涯学習推進課	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		市のホームページ、広報、ツイッター、パンフレット、チラシによる情報発信に加え、地域に根ざしたタウン情報誌へ情報提供を行った。また、家庭教育に関する情報については、新たにPR用映像を作成し、ケーブルテレビ、デジタルサイネージ、ユーチューブで配信した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		引き続き、様々な媒体を活用し各種生涯学習事業に関する情報が多くの市民に伝わるよう創意工夫をして行く。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
広報活動の推進 (P38)	市民会館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		ホールイベント情報のほか、プラネタリウムの新番組や星空観望会のお知らせについて、市のホームページや広報まつどに毎月掲載し周知を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		課題として、他のメディアによる広報活動を研究する必要がある。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
広報活動の推進 (P38)	図書館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		① SNSを活用した広報活動として、Facebookを利用し、テーマ展示や、イベント等の周知を行った(図書館の投稿をフォローするよう広報広聴課に依頼し、閲覧数を増加)。 ② 広報まつど2018年1月15日号1面に、図書館の活用方法、新サービス、職場体験の受入、図書館主催の講座等を掲載し、図書館の活動を広く周知した。 ③ 毎月、本館で行っている資料テーマ展示の特集ページを作成し、展示中の資料及び過去に行った展示についても掲載し、図書館の利用を促進した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		上記の内容に加え、職員の広報戦略の強化を図り、更なる図書館活動やサービスの認知度の向上を図るため、広報戦略チームを立ち上げる。具体的な活動内容は以下のとおり。 ① 定例記者会見への取り上げ依頼、ラジオ番組への参加等、広報活動の新規開拓を行う ② 掲示板や庁内報等に積極的に掲載を依頼し、市役所内でも認知度の向上を目指す ③ 広報担当課職員や外部講師を招き、広報研修を実施する						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
広報活動の推進 (P38)	戸定歴史館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		昨年は全国、首都圏版の9本を含めて16本のテレビ番組に取り上げられた。この内、当館が実施している「将軍フレンチ」は行事のコンセプトそのままにNHKの全国放送3回、国際放送1回にわたり放映された。また、鹿児島県主催シンポジウム、佐賀城本丸歴史館、渋沢史料館、茨城県立歴史観などでの講演会、日本仏学史学会全国大会など松戸以外の会場で講演、PRを行った、広告では東京駅、品川駅で電子ポスターによるPRを実施した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		H29年度の成果を基礎として、博物館活動の基本を踏まえた上で、音楽や食などの領域での活動領域幅を広げ、新規来館者の開拓に努めたい。 また、地域で活動する各種団体との情報共有、共通目的の設定により、地域一体となった情報発信につとめたい。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
広報活動の推進 (P38)	博物館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		博物館の年間スケジュールを一覧できる『年間行事案内』、展覧会ポスター・ちらしを作成して市内外の学校やその他の関係機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っている。 ・常設展観覧者数 延べ16,437人 ・企画展観覧者数 延べ19,985人 計36,422人						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		より効果的な情報提供を進めるため、ホームページのデザインを検討するほか、SNS等のデジタルメディアの活用等、広報戦略について研究するなど積極的な広報活動を行っていく。						
	松戸の教育参考ページ	P93 観覧者状況						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
まつどまなびいネット (松戸市生涯学習情報提供システム) (P38)	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。 (まつどまなびいネット) http://www.matsudo-s-edu.jp						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		平成29年度においては、スポーツ関係団体及び青少年団体の情報を追加した。 ・平成29年度アクセス数 18,628件						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		まつどまなびいネットについてのリーフレットを作成し、一層の利用促進を図る。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
図書館管理運営事業 (再掲) (P32) (P38)	図書館	従来の図書資料だけではなく、行政資料や各種団体が発行するパンフレットなどを含め、課題の解決に必要な情報を幅広く提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		従来通り、行政資料など各種団体により寄贈された資料の収集に努めただけでなく、本館2階の特集展示を行う際に、テーマに関連する機関への紹介を含めたパスファインダーを作成し配布するなど、図書館内部資料の枠組みに留まらない情報の提供も行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
利用者が抱える話題も多岐にわたり、より高度化しているため、平成29年度には「パスファインダー」作成等、自発的な情報提供を行ったものの、その質や量は不十分であった。利用者の情報ニーズを分析し、それに応じて新たに「パスファインダー」を作成するなど、利用者の潜在的な要求を満たせるような情報発信を行っていく。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
行事内容に即した対象者への情報発信の強化 (P38)	博物館	展覧会・講座・講演会等の行事について、目的・内容に合わせて、興味・関心をもつと想定される対象者を選定し、情報の発信・提供の強化を図る(学習資料展「昔のくらし探検」: 小学校への周知・校長会等でのPR、デイケアサービス等の福祉施設への広報など)。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・市長記者会見: 3回(館蔵資料展2回、企画展1回) ・広報まつど掲載: 4回(館蔵資料展2回、企画展、学習資料展)、講座・講演会は随時掲載 ・鉄道等公共交通機関の車内や駅での掲示: 4回(館蔵資料展2回、企画展、学習資料展) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
博物館HP、市長記者会見、広報まつど、ミニコミ誌、デジタルサイネージ、鉄道等公共交通機関(ポスター・ちらし)、市内小中高等学校(ポスター・ちらし)等々、あらゆる機会と媒体を用いて広報に努める。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	教育企画課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		後援承認した行事のポスター掲出申請があった場合、市民センターや社会教育施設に掲出を依頼し、当該行事の周知に努めた。 ・後援件数:46件 ・ポスター・チラシ掲出:8件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	C	C			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		各課においてポスター申請の事務の流れが統一されておらず、市民にとって混乱を招きやすい状況にある。教育委員会から学校へのポスター・チラシ配布について共通の方法が定まったのち、ただちに後援に係るポスター申請業務も整備する。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	社会教育課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		社会教育に関する情報が各市民に行き渡るよう、松戸市民に対する学習機会の提供と認めたイベント等について、後援を行うとともに、そのイベント等を広く市民に行き渡るよう、社会教育施設等にポスターを提示をした。 ・後援件数:56件 ・ポスター掲示件数:24件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		課題は、ポスター提示について各施設に提示を依頼しているが、市民にどの程度情報が行き渡っているのか把握できていないことであるが、有益な行事については、引き続き周知するための支援を行っていく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	市民会館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		市民会館・市民劇場・森のホールで開催されるイベントポスターのほか、後援承認され掲示依頼のあったポスターを掲示し、市民に広く周知を行った。 ・屋外ポスター掲示板 1箇所 ・ポスター掲示板 3箇所 (ホールホワイエ) (会議棟ロビー・会議棟廊下)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性(Action)						
		掲示エリアのスペースも限られており、掲示にあったっては今後も優先順位を考慮しながら掲示を行う。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	生涯学習推進課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		社会教育関係団体からの申請に基づいたポスター掲出:95件(内共催2件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、社会教育関係団体の申請に基づきポスターを掲示していく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	図書館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		主催団体及び関係課から依頼を受けたものについては、本館及び市内19分館において、各館の掲示スペースの範囲内で掲示を行なった。分館については、非常勤職員のみでの配置のため、予め市の共催、後援行事に関するものは掲示可とする旨を通知し、円滑な対応に努めた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		開催される行事の数に対し、各館での掲示スペースが不足しているため、全ての依頼への対応が困難であることが課題となっているが、引き続き可能な範囲での掲示を継続する。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	戸定歴史館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、歴史館や戸定邸内にてポスターやチラシの掲示等を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		引き続き、ポスター掲示等の依頼があれば内容を確認した上で掲示等を行う。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示（P39）	博物館	教育施策の推進上有益と認めた行事（共催）、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事（後援）等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		ポスター等の掲示をした。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方角性(Action)						
ポスター掲示をする。								
松戸の教育 参考ページ	—							

〈施策〉

(2)ICTを活用した情報提供の促進

施策(2)総合評価(事業課数3)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	1/3	33.3%	2/3	66.7%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	2/3	66.7%	1/3	33.3%						
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
(松戸市生涯学習情報提供システム) (再掲) (PP389)	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を上げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		登録団体に運動系の社会教育関係団体や青少年関係団体を追加し、生涯学習活動に係るより多くの団体の情報が周知できるよう取組んだ。							
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
		—	B	B					
		平成30年度の方針(Action)							
まつどまなびいネットについてのリーフレットを作成し、一層の利用促進を図る。									
松戸の教育参考ページ		—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
図書館管理運営事業 (再掲) (P32) (情報化推進) (P39)	図書館	インターネットによる蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会を行う。また、市民の調査研究等のため、市民が利用できるパソコンを整備し、インターネットや各種データベースの利用を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		①現状の図書館システムで、インターネットを利用した蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会は可能。ただし、市内在住・在勤・在学利用者のみ利用可能(市内利用者の優位性を確保するため、市外利用者は利用不可) ②市民が利用可能なパソコンは本館及び大型分館を中心に市内7館に設置、インターネットや6種類のデータベースを閲覧可能。また、「ポプラディアネット(オンライン百科事典)」を新規に追加した(本館1階こどものとしまかん内タブレット端末でのみ閲覧可能)。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		①上記インターネットサービスの利用可能者に市外利用者を含め、サービスの拡大及び強化、それに伴う資料の貸出数の増加、職員の業務効率改善(市外利用者からの電話予約減少を想定)を図る ②音楽配信データベース「ナクソス・ミュージック・ライブラリー(以下NML)」、「国立国会図書館デジタルコレクション」のデータベース2種を新規に閲覧可能とする(NMLは5月より利用開始済)						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
デジタル美術館 (P39)	社会教育課	松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報を、いつでもどこでも見られるようにするため、松戸市ホームページ上に『デジタル美術館』を設ける。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報を、いつでもどこでも見られるようにするため、松戸市ホームページ上に『デジタル美術館』を設け、松戸の作家の展覧会情報等を随時更新し、情報を提供した。 ・松戸市教育委員会所蔵美術作品を5点追加 ・松戸の作家の展覧会情報の掲載計227点						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		・「松戸ゆかりの美術展—その潜在力—」「松戸の作家の個展」情報を掲載し、市内外に広く周知を図る。松戸の作家の展覧会情報等を随時更新する。 ・松戸市教育委員会所蔵美術作品の掲載を追加する。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(3) 学習相談体制の充実

施策(3) 総合評価(事業課数7)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32		解説
A	—	3/7	42.8%	4/7	57.1%							A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている又は未実施
B	—	3/7	42.8%	3/7	42.9%							
C	—	1/7	14.4%	0/7	0.0%							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	社会教育課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		文化財については、個人的な学習支援、市民からの依頼による出前講座、教員等から文化財に関わる授業の相談など実施した。集団での学習時では、講師を務め、学習を深める相談を受けるなどした。 ・平成29年度パートナー講座実施回数:2回						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方針(Action)						
文化財は、対象となる時代や地域が広範囲にわたることから、職員は幅広く専門的な相談への対応が必要になっている。平成30年度は随時相談を受けつつ、内容により可能な範囲での対応を図っていく。								
	松戸の教育参考ページ						—	

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	生涯学習推進課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		各相談者の学習ニーズを把握し、主催する各種講座やニーズに沿うその他社会教育関係団体の情報等を提供する。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		引き続き、各相談者の学習ニーズを丁寧に聞きとり、ニーズに即した情報等を提供する。また、「人生100年時代の生涯学習活動」の重要性を踏まえ、生涯学習のコンシェルジュの機能を持った相談員の育成、配置を検討する。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	図書館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		一人一人の課題に対応できるように、資料の充実に努めるとともに、本館にはレファレンスに応じるための窓口を設置した。 ・レファレンス処理件数: 565件						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		多様な相談に対応できるよう、引き続き職員の資質向上と体制を強化していく。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	戸定歴史館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		中高年層の団体見学の依頼が多く見られる。 市内小中学校の校外学習や学習活動を主目的とした団体からの解説依頼には可能な限り対応した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
引き続き、市内小中学校の校外学習や学習活動を主目的とした団体からの解説依頼には可能な限り対応する。しかしながら、多数の依頼に、限られた学芸員や研究員では対応に限界があるという点が課題である。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	博物館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		①電話や直接来館による市民の問い合わせには学芸員が相談を受ける。 ②展覧会時には学芸員による展示解説会時に相談を受ける。 ③「パートナー講座」を8回実施した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
学芸員の相談体制、図書閲覧コーナーの相談、個人、団体からの相談を充実する。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育 (社会教育推進事業) (P40)	生涯学習推進課	社会教育の特定事項についての直接指導および学習相談、社会教育関係団体の育成等を行う。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		社会教育指導員を配置し、重要課題である家庭教育力の向上事業について指導・助言および学習相談に応じる。また、青少年の健全育成事業についても、指導・助言を行うとともに関連する講座、教室等を企画、実施する。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、社会教育指導員を配置し、関連事業の更なる推進に向けて適時適切な指導を助言と講座、教室等の企画、実施に取り組む。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業 (P40) (再掲) (P32)	図書館	市民の抱える課題の解決に資するため、レファレンスサービス等の充実を図るとともに、市民の情報リテラシー(情報活用能力)の育成を図る。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		課題解決のために必要な情報を自ら収集し活用することができる講座を開催した。 ・図書館データベースの活用講座(参加者13名) ・情報リテラシー講座(同20名) ・認知症予防講座(同20名)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	C	B				
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、活用講座を実施していく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

【基本目標3】 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

《施 策》

(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり

施策(1) 総合評価(事業課数7)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	2/7	28.6%	5/7	71.4%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/7	57.1%	1/7	14.3%						
C	—	1/7	14.3%	1/7	14.3%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学習機会 (自主企画活動支援) 業(P41)	生涯学習推進課	<p>【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。</p>						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<p>市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催した。講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきており、またテーマによっては興味、関心が高い市民同士が集まり新たに市民自主企画団体を結成に繋がった。</p> <p>・市民自主企画講座参加人数 延べ1,954人(26講座72回開催)</p>						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	A				
		平成30年度の方角性(Action)						
<p>学習グループの自立を促し主体的に活動させることや、ともに学ぶボランティア活動促進につなげることが課題である。</p>								
松戸の教育 参考ページ							—	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民文化活動支援事業(P41)	生涯学習推進課	松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供することで、市民文化活動を支援する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供し、市民文化活動を支援した。・第69回松戸市文化祭 平成29年10月1日～11月23日(文化会館・文化ホール他) 展覧会 出品者数 163人 出品点数 397点 観覧者数 4,161人 催し 出演者数 3,534人 観覧者数 7,008人 展覧会(地域)出品者数 590人 出品点数 2,573点 観覧者数 3,785人 催し(地域)出演者数 746人 観覧者数 3,235人 第52回松戸市美術展覧会 平成29年6月13日～25日(文化ホール・アーツスポットまつど) 出品点数 340点 観覧者数 4,649人 第44回松戸市書道展覧会 平成30年3月20日～25日(文化ホール) 出品数 224点 観覧者数 759人 出品者数 224人						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供するとともに、今年度第70回を迎える松戸市文化祭「オープニングセレモニー文化祭70周年記念」において伝統・古典芸能を提供する。また、文化芸術の発展のため、70年の歴史をふりかえり、記念誌を作成する。						
松戸の教育参考ページ	P67～68 (3)市民文化活動							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
幼児・児童の読書普及事業(P41)	図書館	子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するための講座を開催する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		・おはなしボランティア研修会 (22回 延2,089名) ・おはなしボランティア・ステップアップ講座 (1回 93名) ・おはなしボランティア養成講座 (5回 延127名)						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)						
		子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するために、引き続き講座を開催するとともに、ボランティア団体自らがネットワークを構築し、活動を広げられるように自主性を促していく。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
文化 振興 財団 運営 費補 助 (P41)	社会 教育 課	松戸市の市民文化の創造に寄与することを目的に設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に対して運営費を補助し、多くの舞台芸術鑑賞の機会を提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		公益財団法人松戸市文化振興財団に、運営費を補助し、文化芸術活動を支援した。 ・主催事業: 18, 689人(13公演)						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
課題は、補助金を支出するだけでなく、市民に多くの舞台芸術鑑賞の機会が提供できるように提案していく等、文化振興財団との連携が必要である。 平成30年度は、事業内容だけでなく補助金の活用について、定期的に打ち合わせを実施していく。また、開設25周年記念の年であるため、21世紀の森と広場、博物館との合同による記念事業を行うため、前年度より補助金を約220万円増額した。 ・主催事業: 10公演を予定								
松戸の教育 参考ページ		P103~104 社会教育施設利用状況 P106 文化振興財団						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
まち づくり 人材 育成 支援 事業 (P41)	生 涯 学 習 推 進 課	地域の課題等を見つけ解決していく手法を学び、地域活動に積極的に関わるリーダーとなる人材の育成を行う。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		松戸フューチャーセンター事業(「誰もが創造的に働く」)に、市民、企業、NPO、大学、職員等の様々な関係者に参加していただき、未来志向の対話からイノベーションを創造するフューチャーセンターの仕組みと、イノベーション人材の育成や重要性を学ぶ機会を提供した。 ・誰もが創造的に働くためのフューチャーセンター事業ワーキング会議等 延べ191人(17回開催) ・まつど生涯学習フォーラム 102人 ・持ち込みテーマセッション 延べ97人(2テーマ3回実施) ・企業との連携講座 延べ69人(2講座6回開催) ・創業セミナー 延べ56人(2講座4回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
引き続き、松戸フューチャーセンター事業(「誰もが創造的に働く」)に、市民、企業、NPO、大学、職員等の様々な関係者に参加していただき、未来志向の対話からイノベーションを創造するフューチャーセンターの仕組みと、イノベーション人材の育成や重要性を学ぶ機会を提供する。								
松戸の教育 参考ページ		P71~72 (6)フューチャーセンター取組(セッション開催)状況						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 (P42)	社会教育課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		実施しておりません。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	C	C			
		平成30年度の方向性 (Action)						
平成30年度も実施の予定はないが、次期社会教育計画(平成33年度～)の策定にあたり、社会教育関係団体等から社会教育活動の実践や研究成果について意見交換・交流等の事業を実施し、計画を策定していく予定である。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 (P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		生涯学習の自主企画グループ、社会教育関係団体、まつど生涯大学講座をはじめ各種講座の受講生、NPO、職員を対象に「まつど生涯学習フォーラム(前年度は「まちづくり公演会「対談 2時間街歩き宣言」)」を開催し、仲間、居場所、いきがい創りやまちづくりに繋がる各種生涯学習活動の重要性と、各団体の今後の発展に役立つ取組みに関する学習と情報交換の場を提供した。 ・まつど生涯学習フォーラム 生涯学習(知的財産)のまちづくり 参加者187人 第1部「創造的に活躍する”輝く創年”の可能性」 第2部「未来志向の対話による地域課題の創造的解決法」						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
引き続き、生涯学習の自主企画グループ、社会教育関係団体、まつど生涯大学講座をはじめ各種講座の受講生、NPO、職員を対象に「まつど生涯学習フォーラム」を開催し、仲間、居場所、いきがい創りやまちづくりに繋がる各種生涯学習活動の重要性と、各団体の今後の発展に役立つ取組みに関する学習と情報交換の場を提供する。								
松戸の教育参考ページ		P72 まつど生涯学習フォーラム～生涯学習(知的財産)のまちづくり～						

《 施 策 》

(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進

施策(1) 総合評価(事業課数15)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32		解説
A	—	5/15	33.3%	5/15	33.3%							A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	7/15	46.7%	9/15	60.0%							
C	—	3/15	20.0%	1/15	6.7%							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
矢切公民館管理運営事業(P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体をはじめとした市民の主体的な学習活動を支援する社会教育施設として、学習の場を提供する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		利用状況: 2553件[34, 521人](内社会教育関係団体2, 037件[26, 315人]) 矢切公民館文化祭・音楽祭を今年度も実施した。 ・文化祭: 来場者数414人(11団体参加) ・音楽祭: 来場者数341人(12グループ138人出場) インターネット予約システム導入により、利便性と効率化に繋がった。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方針(Action)						
		矢切地区に限らず、市内全域の利用促進を図る。 文化祭・音楽祭については役員・団体と連携し、よりいっそうの内容の充実と来場者数増加を図る。						
松戸の教育参考ページ	P65 [文化祭] [音楽祭] P96 [矢切公民館] P102 [矢切公民館]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
タウンスクール管理運営事業 (P42)	生涯学習推進課	市立根木内小学校内の余裕教室を「タウンスクール根木内」として、地域の学習活動等に提供する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		利用状況:720件[7,158人](内社会教育関係団体70件[446人])						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性(Action)						
		今年度も引き続き、利用者が快適に学習活動等できるよう適切な管理運営に努める。						
松戸の教育 参考ページ	P95 【タウンスクール根木内】 P102 【タウンスクール根木内】							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年会館管理運営事業 (P42)	生涯学習推進課	市内青少年の健全育成と教養の向上を図るために設置した施設であり、仲間づくりの場や学習機会を提供する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		施設予約にインターネット施設予約を導入し、利用者の利便性を図った。また、施設が老朽化しているが、応急的修繕を迅速に実施し快適な施設提供を行った。交流会館や流通経済大学体育館設立により利用者の減少が見られるため、学校等へチラシを配布し青少年会館のPRに努めた。 ・利用件数、人数 本館:4,324件・83,889人/分館・993件・15,938人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性(Action)						
		施設の老朽化に対応できるよう、計画的な修繕を図る。 引き続き、利用者の利便性の向上を研究する共に、更なる周知に努め利用者の増加を図る。また、青少年の居場所として、仲間づくりや地域の人たちと触れ合うことができる教育機能を発揮した時間と場所を提供に努める。						
松戸の教育 参考ページ	P102 8社会教育施設利用状況(青少年会館本館・青少年会館分館)							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
図書館管理運営事業 (P32)	図書館	市民の暮らしに役立つ蔵書の充実を図るとともに、読む事の困難な方々への支援になる資料を整備する。また、市民の抱える課題の解決に資するため、レファレンスサービス等の充実を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		所蔵のない分野・テーマに関する資料の収集や情報が古くなったものの閉架処理を行うなど、コレクションの適正化を図った。また、利用者自身の課題解決能力の向上という点では、図書館で契約しているデータベースの使い方に関する講座を行うなど、自ら調査を行う方法を学ぶ機会の提供を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	C	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		図書館勤務年数が少ない職員の割合が増加しており、質の高いレファレンスサービスを提供できる職員の数が少なくなっている。より高度化しつつある利用者の質問に対応するためにも、コレクション構築などの物的なサービスの向上に取り組むだけでなく、研修や職員内の情報共有など、人的なサービスの向上にも取り組む。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
文化ホール管理運営事業 (P42)	生涯学習推進課	市民の学習の場として、多様な文化活動の発表の場のために設置した施設であり、更なる利用の促進を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 美術展、書道展、写真展等の各種展覧会等の利用状況 文化ホール利用件数 57件 利用人員 39,221人 展示設備の老朽化と展示機能の経年劣化、施設の狭隘化等から利用者ニーズに十分に 応えられない状況になっている。平成29年度も照明器具の一部が老朽化から利用できない状況となったため、急遽LED照明への交換(修繕)を行った。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
		引き続き、利用者ニーズに適切に応えて行く為、施設設備の維持管理に努め、一層の利用促進を図る。						
松戸の教育参考ページ	P97 【文化ホール】 P103 [文化ホール]							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
市民劇場管理運営事業 (P43)	社会教育課	市民の芸術及び文化活動の場を提供するために設置した施設であり、さらに団体などの利用に供し、広く市民の活用の促進を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、施設利用予約について見直しを図り、公共施設のインターネット予約システムと統合した。維持管理の面では、計画的に修繕や工事を行うことにより、常に市民に良好な状態で施設提供できるように努め、吊天井の改修工事に向けた設計委託を実施した。 ・利用件数等: 79, 892人 (1, 793件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		課題は、市民に安全に利用して頂くための施設の整備であり、日々点検を行いながら修繕等に計画性をもって適切な管理を行っていく。						
松戸の教育参考ページ	P103 8 社会教育施設利用状況							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
市民会館管理運営事業 (P43)	市民会館	ホール、会議室、ながいき室及びプラネタリウム室他を備えており、市民に文化・芸術の振興、生涯学習の普及及び地域コミュニティの場を提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		利用者の安全確保のため、市民会館ホール天井落下対策工事及びピロティ天井の修繕を実施した。また設備の老朽化に伴い、高圧真空遮断器を5台交換した。 ・ホール、会議室等: 190, 632人 (6, 433件) ・プラネタリウム: 11, 869人 (579回)						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		竣工 (昭和39年11月) 後53年が経過し、建物・設備等の老朽化が著しいため、中短期的な計画を立てた修繕が望まれる。なお、工事の時期については、他のホールと連携し、工事が重なって利用者に不便を来さないように配慮する必要がある。						
松戸の教育参考ページ	P105 市民会館							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
文化 会館 (P43) 管理 運 営 事 業 (森のホール21)	社会 教 育 課	市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るために設置した施設であり、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場として、さらに人々の芸術文化活動を支援する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		管理運営面では、指定管理者の選定を行った。また、市民の利便性の向上を図るため、施設利用予約について見直しを図り、公共施設のインターネット予約システムと統合した。維持管理の面では、計画的に修繕や工事を行うことにより、常に市民に良好な状態で施設提供できるように努め、吊天井改修工事に向けた設計委託及び小ホール楽屋側の温水洗浄便座設置工事を実施した。 ・利用件数等:372, 571人(3, 776件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		課題は、市民に安全に利用して頂くための施設の整備であり、日々点検を行いながら修繕等に計画性をもって適切な管理を行っていく。						
松戸の教育 参考ページ	P104 8 社会教育施設利用状況							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
松 雲 亭 管 理 運 営 事 業 (P43)	戸 定 歴 史 館	茶室である松雲亭の利用促進を図り、社会教育施設として、茶道だけでなく、様々な文化的活動に対し、市民の文化的教養を深める機会及び学習の場を提供する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		茶道のほか、香道、短歌、俳句、吊るし雛の展示、貝合わせの展示、甲冑の製作・着用体験などに利用された。 ・利用者の延べ人数:6, 335人 (191件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
		引き続き、茶道に限らずに様々な文化的活動に対し、文化的教養を深める機会及び学習の場を提供していく。						
松戸の教育 参考ページ	P94 松雲亭の貸出							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館管理運営事業(P43)	博物館	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置した施設であり、利用者が安全で快適な環境で学習できるよう更なる利用の促進を図る。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		開館後25年が経過して施設の経年劣化が目立つが、年次計画による修繕で対応している。また、総合展示室吊り天井については、市民の安全性を確保するうえでも改修が望ましい状況である。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	C	C			
		平成30年度の方向性(Action)						
		年次計画で修繕を行っていき、21世紀の森と広場地域の利用者増をめざして、文化会館・公園管理事務所との事業連携を進める。						
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館管理運営事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
シティ・ミニコンサート開催事業(P43)	生涯学習推進課	松戸にゆかりの音楽家を市役所(市議会議場)に招き、毎月第3水曜日に定期コンサートを開催する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		お昼のくつろぎの時間を利用して、芸術性の高い音楽を市民や職員に提供すると共に、松戸市ゆかりの演奏者を中心とした音楽活動の場を提供、市民の音楽文化の涵養に寄与する。 回数/開催日 サブタイトル 出演者 第215回 平成29年4月19日(水) Let's enjoy オーボエトリオ(小山祐生、鷹栖美恵子、井上恵子) 第216回 平成29年5月17日(水) ビバ! メキシカンマリンバ(梅津千恵子、古徳景子、パニユエロ・ロホ) 第217回 平成29年6月21日(水) 夏至の風にのせて(日暮彩子、中村麻耶) 第218回 平成29年7月19日(水) That's エンターテイメント(小玉もな、徳川眞弓) 第219回 平成29年8月16日(水) 四手の魅力・連弾コンサート(石本由香利、鎌田千佳) 第220回 平成29年9月20日(水) 誰もが楽しめる唯一無二のコンサート(松井拓野、アキ・マツモト) 第221回 平成29年10月18日(水) テノールの音色と秋模様(又吉秀樹、山中麻鈴) 第222回 平成29年11月15日(水) サクソフォーンであの名曲を(榮村正吾、渡辺真里) 第223回 平成29年12月20日(水) 歌声で届けるクリスマスプレゼント(武井直美、串田真理) 第224回 平成30年1月17日(水) 冬の残り香 Quartet Pesca(坂本瑠美、梅原孝輔、坂田桃子) 第225回 平成30年2月21日(水) トリオで彩る花と愛 Quatre-vingt-Neuf(田染泉、山部宙、松下祐子) 第226回 平成30年3月28日(水) 春のテノール音風景(市川浩平、山中麻鈴)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、お昼のくつろぎの時間を利用して、芸術性の高い音楽を市民や職員に提供すると共に、松戸市ゆかりの演奏者を、中心とした音楽活動の提供の場として、市民の音楽文化の涵養に寄与する。また、当該事業は、平成31年3月に20周年を迎えることから、20周年記念コンサートを森のホール21(小ホール)で開催する。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
生涯学習センター計画事業(P43)	社会教育課	図書館整備計画と連携した、生涯学習センターの計画策定に着手する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		社会教育施設の整備と機能の充実として、図書館機能を中核とする市民の学びを支援する複合施設の整備について、関係各課と情報交換をおこなった。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性(Action)						
		課題は、各担当課の共通理解を図りながら問題を整理し、具体策を練り上げていくことである。 平成30年度は、スケジュールを管理しながらプロジェクト方式で進めていく。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
地域の居場所づくり促進事業(P43)	社会教育課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。					
		・居場所づくりに関する調査・研究					
		平成29年度の実施状況(Do)					
		東松戸にある旧齋藤邸において、地域の人々が気軽に参加できる絵画や絵手紙の講座を実施した他、各団体主催のイベントの実施等、地域の居場所づくりとして場を提供することができた。					
		・団体利用件数等: 公用 350人(33件) : 公用以外 650人(37件)					
		・利用者数: 1,386人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31
—	C	B					
平成30年度の方向性(Action)							
旧齋藤邸は文化財としての位置付けの他、地域の居場所づくりとしての活用も進めている。平成30年度は、多くの市民や団体が学習、交流できるよう広報まつどやHP、町会案内等で周知を図り、地域の居場所づくりとしても活用して頂けるようにしていく。							
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
地域の居場所づくり促進事業 (P43)	生涯学習推進課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		公民館を学習拠点として活動している社会教育関係団体の作品展示や発表会を実施した。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・矢切公民館文化祭 平成29年11月2日(木)～11月5日(日) 出品者数150人、出品数513点、来場者数414人 ・矢切公民館音楽祭 平成30年2月18日(日) 出場者数138人、曲目数59曲、来場者数341人 						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
平成30年度の方向性 (Action)								
引き続き、学習の成果の発表の場の提供や居場所の支援を実施していく。								
松戸の教育参考ページ		P65 [文化祭] [音楽祭]						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
地域の居場所づくり促進事業 (P43)	図書館	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		本館5階の学習室を図書館資料を使用した学習の場として、隣接する休憩コーナーを交流の場として、それぞれ活用した。また子ども読書推進センターや、29年度に開設した新松戸こどものとしょかんでは、幼児・児童やその家族が気軽に来館し、安心してくつろぎ滞在できるような体制を整えた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
引き続き、活用しやすい環境整備を図っていく。								
松戸の教育参考ページ		—						

《 施 策 》

(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導

施策(1) 総合評価(事業課数6)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	5/6	83.3%	5/6	83.3%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/6	16.7%	1/6	16.7%						
C	—	0/6	0.0%	0/6	0.0%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(学 習 機 会 提 供 事 業 (P32) (P44))	生 涯 学 習 推 進 課	【ふるさと発見創造講座】 自らの生活課題や社会的課題に即した学習をはじめ、松戸の歴史・文化・環境などを調査研究しその成果をまとめ市民に伝えるなど、社会貢献活動にかかわる学習グループづくりを目指した学習機会を提供する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		松戸の歴史、文化、観光の面から受講生各自がテーマを設定し、グループ活動を通じて調査・研究活動を行った。調査した松戸の魅力を自分たちの視点でまとめあげ、その成果を「まつど生涯学習フォーラム」や、他自治体(主催)の生涯学習イベントにおいて発表し、多くの参加者へ当該講座の取組み状況と松戸の魅力を発信した。 ・ふるさと発見創造講座参加者数 延べ199人(15回開催)						
		matsudo	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方角性(Action)						
まつど生涯学習大学講座(創年コース)として名称を改めて企画開催する。								
	松戸の教育 参考ページ	P64 [ふるさと発見創造講座] P72 まつど生涯学習フォーラム～生涯学習(知的財産)のまちづくり～						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 提 供 事 業 (P41) (再掲) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催した。講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきており、またテーマによっては興味、関心が高い市民同士が集まり、新たな市民自主企画団体の結成に繋がった。 ・市民自主企画講座参加人数 延べ1,954人(26講座72回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方角性(Action)						
		引き続き、現在の自主企画団体の活動を支援するとともに、各種講座等の受講者から新たな自主企画団体が誕生するよう機会ある度に働きかける。また、設立して相当期間が経過した団体には、自立を促し主体的に活動させるとともに、生涯学習活動で培ったものを地域活動に活かすよう動機付けを行う。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 提 供 事 業 (P41) (再掲) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【生涯学習支援ボランティアバンク】 地域社会をよくするために、市民が主体となり学習した成果や自らの経験や知識を生かすことを目的とした生涯学習支援ボランティアバンクを設置し、学習支援の推進を図る。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		まつどまなびいネットやホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、利用の促進を行う。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方角性(Action)						
		引き続き、まつどまなびいネットやホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、広く市民に周知し、利用の促進を図る。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
博物館友の会支援・協働事業 (P44)	博物館	学びの場としての役割を達成するうえで、博物館友の会と相互に連携を図り、共催による講座・講演会・体験教室を企画・実施する(小学生学芸員「米づくり」、こども体験教室「郷土玩具をつくろう」など)。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		社会教育関係団体である博物館友の会に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施した。 ・共催事業(6事業)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
大学生・高校生の利用は少ないのが現状である。友の会との共催事業をこれまで以上に活発化するとともに、友の会の支援、案内送付、ポスター掲示を行う。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
成人式開会事業 (P44)	社会教育課	「国民の祝日に関する法律」に定められた「成人の日」の趣旨である、「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ため、新成人自らが企画運営する成人式を開催する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		成人式については、新成人自らが企画運営する参加型学習機会の場であるが、松戸市の四季を通じた「記念映像」の上映や、今までの人生でお世話になった人々への感謝をテーマにした「新成人の主張」、式典中のイベントなどを通して企画したことを実践に結びつけ、新成人スタッフの自己実現を図ることができた。 ・成人式出席者数: 2, 873人 ・成人式出席率: 58. 5% ・新成人スタッフ: 18名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	A	A			
		平成30年度の方向性 (Action)						
課題は、成人式については、新成人が考えるイベント内容に、どのようにしてその趣旨を伝えるか、また、当日は多くの新成人がいかに参加できるかである。平成30年度は、多くの新成人が参加できるよう午前午後の2部制として見直しを図ります。								
松戸の教育参考ページ		P55 成人式開催状況						

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
美術文 (地域美術振興支援) 業 (P44)	社会教育課	松戸市在住・在勤美術家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して地域の文化芸術活動の振興を支援する。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		松戸市在住・在勤美術作家4人の活動を個展形式で市民に紹介する「松戸の作家の個展」を開催し、その情報を広く市内外に発信した。 ・会場 森のホール21 アート・スペース(エントランスホール内) ・開催期間 平成29年6月～平成30年3月(1回約2ヶ月間×4回) ・参加作家 4人(加藤博康氏、石井武夫氏、清水満津男氏、山川美代氏)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性 (Action)						
平成30年度も継続して実施していく。その際、アンケート調査をもとに、平面という制限はあるが作家やジャンルが偏らないように配慮していく。								
松戸の教育 参考ページ	P61 展覧会							

【基本目標4】 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

《施 策》

(1)家庭教育の充実

施策(1)総合評価(事業課数1)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	1/1	100%	1/1	100%						A: 施策の目標どおり推進できた
B	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%						B: 施策について概ね順調に推進している
C	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%						C: 施策について進捗は遅れている又は未実施

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
家庭教育力向上事業(P34) 生涯学習推進課 (一部再掲(P34)業(P45))	生涯学習推進課	家庭教育の向上を支援するため、幼児、小学生、中学生の保護者に学習機会を提供する。 ・家庭教育学級 ・幼児家庭教育学級講座 ・中学校家庭教育学級 ・市全体として家庭教育の向上を支援する方策の研究						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		家庭教育の向上の一環として、保護者同士が交流したり、子育てや家庭のことを学んだりする場として、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級や講演会等を行なうとともに、小学校45校の地域の特性をいかした家庭教育学級へ相談支援をおこなった。また、共働きやひとり親世帯の方も参加し子育てについて対話できる場を開催した。 ・小学校家庭教育学級 市立小学校45校設置 419講座 延べ7,985名参加・家庭教育Cafe 7人参加 ・幼児家庭教育学級講座 幼児家庭教育学級10回延べ95組参加 入学直前講座1回35名参加 ・中学校家庭教育学級 1講座4回延べ191名参加 ・市全体として家庭教育の向上を支援する方策の研究 川島隆太教授 家庭教育支援講演会 東松戸小学校 181人参加 パートナー講座24回 延べ1,019人参加						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方針(Action)						
共働きやひとり親世帯においては家庭教育の講座や講演会に参加できない状況にある。そういった家庭の保護者も参加しやすい場の提供等の工夫をしていく。発達段階に応じた家庭教育の推進として、保護者のニーズに応じた小学校入学直前講座を充実、展開していくとともに、幼稚園、保育園の保護者との連携を模索していく。家庭教育啓発パンフレットの動画を活用し、より伝わりやすいパートナー講座の展開をする。小学校家庭教育学級では、児童数や共働き世帯の割合等の影響等から人数が集らず運営に苦慮している学校が出てきているため、社会教育指導員が学校の実情の把握に努め、きめ細やかな支援を行う。								
	松戸の教育 参考ページ	P66(2)家庭教育学級						

《 施 策 》

(2)地域、学校、家庭の連携事業の促進

施策(2) 総合評価(事業課数4)											
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32	解説
A	—	0/4	0.0%	0/4	0.0%						A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/4	100%	3/4	75%						
C	—	0/4	0.0%	1/4	25%						

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学校を核にした地域コミュニティづくり事業(P45) (学校支援地域連携)	教育企画課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		小金北中学校区(小金北中・小金北小・殿平賀小)と牧野原中学校区(牧野原中学校・松飛台小学校)において、それぞれ「体験活動」や「学習支援」などの活動が行われている。							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			—	B	B				
		平成30年度の方向性(Action)							
社会教育法が改正され、本事業が「社会教育」の分野に位置づけられたことから、より学校と地域が連携・協働できる組織を目指していくことが求められています。具体的には、「地域学校支援本部」から「地域学校協働本部」へ移行し、個別活動から総合化・ネットワーク化することで、学校と地域が連携・協働できる組織を目指すこと、またこれまでの「コーディネーター」から「地域学校協働活動推進員」として委嘱し、法的に位置づけられた存在として、立場を明確にすることで、コーディネート機能の強化を目指していくことです。 本事業は、社会教育課、生涯学習推進課と連携し、当課が主管してまいりましたが、法改正を受けて、「協働」に向けた更なる事業の拡充が必要となることから、社会教育部門を統括する社会教育課をはじめ、地域ボランティアを所管する生涯学習推進課など一層の連携を図りながら、各担当課で役割を発揮することができるよう、事業の橋渡しを進めていきたいと考えています。									
松戸の教育 参考ページ		—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	社会教育課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		実施していません。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	C			
		平成30年度の方向性 (Action)						
平成30年度は必要に応じて連携を図っていく。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	生涯学習推進課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		平成29年度の実施状況 (Do)						
		まつど生涯学習講座、ふるさと発見創造講座、成人講座、市民自主企画講座、生涯学習フォーラム等の各種生涯学習事業を通して、子育てや学習支援をはじめ地域の担い手(ボランティア含む)の育成に取り組んだ。						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			—	B	B			
		平成30年度の方向性 (Action)						
引き続き、各種講座を通して地域の担い手(ボランティア含む)の育成に取り組む。								
松戸の教育 参考ページ	P62～64(1) 講座状況 P72 まつど生涯学習フォーラム～生涯学習(知的財産)のまちづくり～							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
幼児・児童の読書普及事業 (P41) (P45)	図書館	ボランティアを支援し、家庭や学校と連携した、地域における子どもの読書活動の推進を図る。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での読み聞かせ講座(8回 269名) ・親子絵本講座(10回 207名) ・絵本はじめのいっぽ(77回 1,505名) ・市民センターおはなし会(82回 791名) ・小さい子のおはなし会(186回 2,046名) ・1才6ヶ月児健診時の読み聞かせと図書館利用案内(80回 6,054名) ・依頼おはなし会(53回 1,396名) ・講師派遣(12回) ・公共図書館と学校図書館の連携に関する研修会(1回) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B	—	—	—	—
		平成30年度の方向性(Action)						
学校貸出セットや読書ノートの利用を通して、学校司書との情報交換や連携を進めているが、ボランティア団体の自主性を促しながら、更なる連携の仕組みを強化していく。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(3)多様な学習、体験活動の充実

施策(3) 総合評価(事業課数2)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32		解説
A	—	2/2	100%	2/2	100%							A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%							
C	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%							

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
青少年会館 学 習 機 会 提 供 事 業 (P36) (再掲)	生涯学習推進課	<p>青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり、自己表現活動を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教室 ・青年講座 							
		平成29年度の実施状況(Do)							
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施青少年教室 47教室 延べ参加者数2,415名 ・文化系、スポーツ系、体験型等、幅広い視野からプログラムを企画し、提供した。 ・実施青年講座 7講座 延べ参加者数231名 ・身近な課題を取り上げ学習をすることで、仲間作りをし、活力あるグループの形成を図った。 							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	H31	H32
				—	A	A			
		平成30年度の方向性(Action)							
		<p>(青少年教室) 魅力ある内容の企画運営、学校への周知(訪問の上チラシ配布等)を通して中高生への参加促進に努める。多くの子どもたちが参加できるよう、市内全域の施設で教室を開催していく。</p> <p>(青年講座) 若者の興味を引く内容の講座を企画運営、参加しやすい曜日・時間帯を考慮して実施していく。</p>							
松戸の教育参考ページ		P73~75(7)青少年会館講座状況〔青少年教室〕					P78〔青年講座〕		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年 活動支援事業 (一部再掲)(P34) (業)(P46)	生涯学習推進課	青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とするとともに、仲間づくり、社会的連帯感を高めていく機会とする。						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		青少年会館主催の青少年教室や会館を利用する青少年団体等の成果発表を行うとともに、団体相互や地域との親睦を深め交流する機会とするため、文化祭&青年フェスティバルを実施。 ・文化祭&青年フェスティバル 11月3日(祝) 来場者2,954人 地域に根差した青少年の芸術活動を支援し、活力ある青少年を育成することを目的とし、アートパフォーマンスまつり(芸術祭)を実施。 ・アートパフォーマンスまつり(芸術祭) 2月24日(土) 来場者1,819人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	A	A				
		平成30年度の方向性(Action)						
		引き続き、文化祭&青年フェスティバル及びアートパフォーマンスまつり(芸術祭)において、成果発表の場の提供や多様なプログラムを通じて、地域やNPO、子ども同士等が様々な交流を図れるよう更なる充実に努める。						
松戸の教育参考ページ	P78[その他の状況]文化祭&青年フェスティバル・アートパフォーマンスまつり(芸術祭)							

《 施 策 》

(4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供

施策(4) 総合評価(事業課数1)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		H31		H32		解説
A	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%							A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/1	100%	1/1	100%							
C	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年の社会教育活動支援事業(P46)	生涯学習推進課	<p>青少年教育にかかわる指導者の養成と指導者の交流の機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心と体の発達を理解する講座 						
		平成29年度の実施状況(Do)						
		<p>子どもの健全育成に取り組むNPO(協働体)との協働事業として、子どもと関わる際のコミュニケーションやリーダーシップのとり方について学ぶ講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関わる担い手育成事業「笑顔のコミュニケーション&笑顔のリーダーシップ」他 <p>全3回 受講者: 述べ83名</p>						
		tono	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		—	B	B				
		平成30年度の方針(Action)						
<p>引き続き、子どもに関わる担い手育成事業として講座を実施して行く。 また、子どもと関わるイベント等を実施し、受講者が講座を受講した成果として、継続的に担い手として活躍できる機会を提供して行く。</p>								
松戸の教育参考ページ		P76 <子どもに関わる担い手育成プログラム>						